



黒陵

SINCE 1924



100
KUROKITA X 100th

- p2~5 高校時代今昔物語
~黒陵生は語る 保護者も語る~
- P6~7 体育祭集合写真&クラスTシャツ
- p8~9 体育祭名場面
- p10~12 燃える黒陵 活躍の記録
- p13 黒陵祭写真集
- p14~15 職員紹介
- p16 校長・PTA会長あいさつ 編集後記

高校時代今昔物語

黒陵生は語る 保護者も語る

『100年の歴史 3万の青春』をスローガンに、創立100周年を迎えた本校で学校生活を送る子供たち。もちろん、保護者にも学生時代がありました！そこで、今回は高校生活に関するアンケートを実施し、現役生と保護者からたくさんの回答をいただきました。

『3万の青春』のひとコマ、どうぞご覧ください！

学校生活

課題や小テストに苦しめられる時もあるが、学校で友達と話す時間が楽しい。(2年)
 学年が上がるごとに時間の流れがはやい。(3年)
 進学校というもあり、勉強勉強と忙しいと思っただが、行事イベントも一生懸命なのでいいと思う。(保護者)

校舎

トイレを増やして欲しい。(1年)
 良く言えば年季あって趣がある、悪く言えばボロだと思っていたが、過ごしていれば愛着が湧いてきた。(3年)
 歴史ある校舎、やはり、黒陵の桜は、とても最高です。(保護者)
 老朽化が進んでいるように感じ、耐震性が気になる。(保護者)

授業

ユーモアのある先生が多くて飽きない。(2年)
 タブレットなどのIT活用型の授業が新鮮だ。(3年)
 『きたかみ世界塾』のように、生徒主体で学ぶ機会が多く、昔と全然違うなど感じます。(保護者 OB)



部活

中学の時とは違って自主的に練習を行い仲間たちと切磋琢磨しながらレベルアップできるのでよかったです。(1年)

運動部だけじゃなく文化部も様々な部活があって楽しそうです。吹奏楽部の演奏に、鳥肌が立ちました。(保護者)

技術だけでなく人間性も成長させてもらっていると思います。子供同士だけでなく、先生、大人、他校、様々な人との関わりが成長させてくれていると思います。

(保護者)

行事・イベント

体育祭3日間あるの嬉しい。楽しい。文化祭で文化部が目立てるの嬉しい。(3年)

普段授業や課題に追われている分、発散できる場があって楽しい。(2年)

自分達の時は修学旅行がなくて、3年間1泊2日の東北めぐり。修学旅行には行きたかったな。(保護者OB)

進学校ですが、行事やイベントがあることで、次への意欲に繋がっています。

(保護者)

先生

生徒思いの先生が多いと思います。マニアックな先生も多くて面白いです。(3年)

それぞれ合う合わないはあって当然ですが、頼れる先生がいるのはありがたいです。

(保護者)

女性の先生も多く、女子生徒の親としては安心感があります。私たち親世代、高校は男性の先生ばかりでした。(保護者)

その他

芸術鑑賞会など、新たな学問や発見を得る機会が多く設けてある。(2年)

ジェンダーレス制服の導入を希望。(保護者)

本人なりに考えた末に黒北に入学したようです。当初の目標である部活動の方はなかなか成果が出ない日々ですが、自分で向き合っていて欲しいと願っています。部活だけでもない、勉強だけでもない、全部に本気、の黒北の環境がよいなあと思っています。(保護者)



校舎について

【生徒の回答・3年生】 ▶決してきれいとは言いきれないけど、黒北らしい伝統の守り方だと思いました。▶色々な意味で100年の歴史が感じられる校舎だと思う。100周年でリメイクしよう！▶場所によってはまだ入ったことのない教室があるので入ってみたい。▶丘の上ある校舎からの見晴らしはよく、施設内の設備も充実している。老朽化が進んでいるところも見られるが、学校生活にはあまり支障はなく、時折工事等も行われるため、快適に過ごすことができています。▶緑に囲まれて自然豊かな校舎だと思った。

【保護者の回答】 ▶町中にありながら木に囲まれていて、落ち着ける雰囲気を感じる。▶私が通っていたのは35年前ですが、全く変わってなくて、やはり古くなったなあ～と思いつつ懐かしい思いがします。応援歌練習最終日に屋上にいって、応援部から飴をもらって感動した日がついこの間のような気がします。▶自然の中の校舎という感じで、ここで高校生活を送れる子ども達は幸せだと思います。▶100年の歴史を感じる、素晴らしい校舎。特に、正面玄関前の大木が素敵。春の桜並木も最高。▶桜を残してほしいです。▶古いが耐震対策や衛生環境が整い、冷暖房の設備が充実していれば、保護者としては安心して子供を預けられる。新しくロータリーや駐車場を整備して下さるということを知っているので期待している。▶学生の頃、図書室は左奥、廊下続きの別館にありましたが、校舎のほぼ中央に変更され、自習室としてもとても利用しやすいように思いました。また廊下に展示している書道や油絵の作品が素晴らしくて、感動しました。

授業について

【生徒の回答・3年生】 ▶課外が多いため、自学の時間が少なくなってしまう。▶授業の進度が速い。▶厳しすぎるわけではないが一度遅れたらその単元が終わるまではしんどい。▶大学受験に必要な力が身につけていると実感できるような授業を受けることができる。▶高校の授業は少し堅苦しいイメージだったけど生徒のためを思った分かりやすい授業だった。▶意外と周りとのコミュニケーションをとる機会が多いと思った。

【生徒の回答・1年生】 ▶大変だけど充実している感じがする。

【保護者の回答】 ▶分からない時も先生は寄り添って教えて下さってとても有り難いです。▶進みがはやく、理解してない子供は、おいていかれるイメージ。参観時、真面目に取り組んでいる生徒ばかりで驚いた。わたしの母校は時代柄かヤンキーが多く、授業中に机の上に飲みかけのバック飲料が置きっぱなしだったりしました。▶先生方が熱心に丁寧に指導してくださっていますので、感謝しております。昔と比べ、一人ひとりに寄り添ってくださるように思います。▶難しいとは思いますが、ガラガラする授業よりいいと思う。わからないところを気軽に質問できる時間や場所があればいいかな？▶自分も勉強してきたはずなのに…自分の時と比べて難しい内容を勉強しているような気がします。教科書覗いてみると懐かしいけどめまいが…。▶課題や単元テストが多く感じる。昔は昔で大変だったが、予習が中心だったと思う。▶ディベート対決や総合探究など他のクラスの仲間と関わる時間、経験が(受験に繋がっていけるので)いいなあと感じています。▶パソコンなどのIT活用で、自分たちの頃とはだいぶ違う印象。▶私が黒陵生だったときに比べて、より専門的になっていると感じます。▶

以前は、授業といえば黒板に向かって行うものだったけど、総合探究など、昔と随分変わったと思う。いろんな力を身に付けていると感じる。

行事・イベントについて

【生徒の回答・3年生】 ▶小中学校と比べ物にならないほど規模が大きいみんな全力で最高に楽しい！ガチになった分だけ思い出に残る行事です。▶体育祭がとても楽しい。文化祭もクラスごとに取り組んでいて、100周年行事など盛り上がる行事がある。▶めっちゃくちゃたのしい！市内ではもちろんトップだけど県内でもかなり上位の楽しさだと思う。▶行事の運営、準備がすごく丁寧でどれも楽しく気持ちよく終わって良い。▶体育祭が他の高校は2日なのに3日間やるのが嬉しい。応援歌練習は辛かったが今ではとても記憶に残るいい思い出になった。対面式は入学してから初めて大きな行事だったので、とても緊張したが黒陵生になった自覚が少し持てるのでなくなってしまっただけ残念。

【生徒の回答・2年生】 ▶想像していたよりもイベントに本気で取り組んでいて全力で楽しめる。▶先輩達も優しく、全力で楽しむことができるので、黒北の行事は大好き！

【生徒の回答・1年生】 ▶体育祭でクラスそれぞれでの団結感があって良かった。

【保護者の回答】 ▶応援歌練習が簡素化されてるのが驚きました。昭和の考え方ですが、あれで根性と友人達との団結力を培った気がします。寂しいですが時代ですね。▶生徒主体で、先生も一緒に楽しそうにしているこんな学校に自分も行きたかったなと思いました。▶各クラスがどうしたら体育祭が盛り上がるかとか、休みの日も体育館をかりて練習して戦術を考えたりしている息子をみるとうらやましいです。▶100周年のこの年に、自分の子供が在学していることが嬉しかったです。▶応援歌練習というものが独特で驚きました。▶コロナ禍の中学校時代でしたので、創立100周年の時に在学でき、いろいろと心に残る高校生活を過ごせていると思います。▶体育祭を外部で3日間！と驚いた。送迎は大変だったが、本人はとても楽しかった様子。▶黒陵祭で見たダンス同好会の発表。男子女子関係なく、やりたいことや楽しみたいことに一生懸命な姿を見ることができ、いい時代になったな…と、うれしくなりました。▶コロナ禍で何もできなかった子たちなので、イベントは本当に嬉しい。▶3日間の総合運動公園での体育祭に驚き！普段勉強ががんばっているだけに、このイベントに対しての思い入れと気合いがすごい！▶100周年記念行事に参加する事ができ、生徒会の企画がとても素晴らしかったです。今度は、黒陵祭がとても楽しみです。

部活について

【生徒の回答・3年生】 ▶中学校より選択肢が多く色々なことに挑戦できた。また移動は生徒だけで電車に乗ったり宿泊もあったのでそれだけでいい思い出です。▶楽しくやるか上を目指して頑張るか人それぞれ違うから難しい。▶活躍している部活が多くてさすが文武両道を掲げている学校だと思う。▶もう少し活動範囲を広げていきたい。特に文化部。▶お互いに高め合いながら練習出来た日々がとても思い出に残っている。めっちゃくちゃ楽しかった。▶あまり強くないが早めに部活が終わるので部活にあまり時間をとりたくない人にはいいと思った。▶充実した活動ができる。仲間同士協力しながら、目標に向かって切磋琢磨する事ができる。

【生徒の回答・2年生】 ▶先輩達との距離が近く、自分たちで練習メニューを組むことができ、充実した時間で

【生徒の回答・1年生】 ▶レベルの高い選手と部活ができて目標を持って練習できる。▶いろいろなことを、経験できていいと感じた。部活の先輩にもいろいろ聞けてよかった。

【保護者の回答】 ▶活動は問題ないが、施設の整備が必要かと思えます。▶各々の熱量に応じた柔軟性のあるものにしてほしい。▶中学校に比べて終了時間が遅いため疲れは見られるが、好きなことをしているので愚痴は聞いたことがない。▶部活の休みが少ない。平日にも1日休みを入れるべき。▶なかなかハードな気がします。でも子どもは楽しらしい。良かった！▶限られた時間の中でOBの方々や先輩の意見を聞きながら、自分たちで考え目標に向かって一致団結して頑張る姿は素晴らしいと思えます。▶当時の仲間とは頻りに会うことは無くなりましたが、春・夏の高校野球シーズンになるとグループLINEが盛り上がりします。▶念願叶って黒北吹奏楽部に入部。3年間部活動に明け暮れました。今年、娘が入部し、本当に楽しそうに活動しています。何十年経っても、中学生の憧れの存在であり続ける黒北吹奏楽部に感謝！

撃に話を聞いてくれる先生もたくさんおり、相談がしやすい環境だと思う。▶十人十色で考え方、教え方がそれぞれだなと感じる。授業を持ってない先生の事は何も知らないので行事などで存在を初めて知った人も…

【保護者の回答】 ▶進学校なので、先生も厳しいのかなと正直思っていました。▶ざっくばらんにお話できる先生が多いようで安心しています。▶本人の良いところや改善点、上手く表現できない悩みごとなどについて、先生方が言語化してくれたり、具体的に示してくれるので、内なる自信が育まれているように思います。▶自分が学生の頃、親に先生のことを話題にした記憶がありません。子供が話題にするほど、楽しくて、子供にとって影響を与えている存在なのだと思います。▶ほぼおじさん先生しかいない環境で3年間過ごしましたので、担任の先生が若くてかわいい女の先生だったことは割と衝撃的でした。▶娘の英語担当の先生が、私も高校時代に教わった千葉先生で驚きました！千葉先生、お変わりない…(*^^*)

学校生活について

【生徒の回答・3年生】 ▶朝の坂道ダッシュや階段移動は辛いけどクラスとみんなと過ごす時間はその辛さを吹き飛ばすくらい楽しくて最高の日々です。▶はじめましての友だちが多くて楽しい。▶いつも楽しい学校生活を送れている。夏場のポロシャツでの登下校や生活可になったのはすごく快適。▶良い人や優しい人が多くてトラブルも少なく、過ごしやすい。勉強してもいいし友達と喋ってもいいし、自分の自由に行動できる雰囲気がとても良い。

【生徒の回答・1年生】 ▶クラスの人はみんな仲間思いで助け合いができる最高のクラスだと思いました。また、担任の先生は生徒1人1人に寄り添って下さっているのが本当にありがたいと思っています。

【保護者の回答】 ▶進学校なので、宿題やテストが大変そうですが、大変だからこそ息抜きで友達と遊びに行くのが楽しいようです。黒北に入学出来て、良い友達にも恵まれて本当に良かったです。▶購買がないのが残念。自分の出身校では、休み時間の購買の戦いが思い出になったから。▶課題が多くて大変だと思うが、進学のために頑張りたい。▶地区外からの入学で不安もありましたが、新しい友達も出来て、毎日楽しく通えている姿に安心しています。▶多様性を尊重し色々なタイプや環境にいる人たちがいることを理解し、付き合えるような3年間としてほしいと思えます。▶学校の方針が臨機応変で良いと思う。堅苦しくなく良いと思う。暑い時はポロシャツ登校ができるなど。子どもは学校生活をしやすいと思う。▶50歳を過ぎても部活の仲間とは今でも会うことがあるので、生涯付き合える友達を見つけてほしいです。▶『箸が転んでもおかしい年頃』特有でしょうが、くだらない話題でおしゃべりばかりしていた高校時代。何気ない日常が懐かしい思い出になっています。▶勉強は大変そうだけど、笑顔で登校してくれています。黒陵生としての3年間、決して楽ではないけど、ここを乗り越えれば、これからの自分を支えてくれる力になるはず。ガンバレ黒陵生！

【生徒の回答・3年生】 ▶制服は本当に悲しい。せめてリボンをつけて欲しかったし、夏の女子のベストは防弾チョッキみたいなデザインにして欲しくなかった。でも、制服がダサくてもいい思い出はたくさんできたので、幸せ。▶制服可愛くして欲しいです！ワイシャツにリボンorネクタイをお願いします。

【保護者の回答】 ▶野球応援を吹奏楽にしてほしい。▶タスクが多く寝不足になりがちだが、今のところ全般に充実した日々を送れている。悩みに悩んで黒北を選んで良かった。入学式では伝統ある進学校の格式のようなものを感じた。▶校舎が自分の時とほぼ変わらず懐かしかったものの、古くてかわいそうだと思った。又、女子の制服がかわらないのもかわいそうです。花北や水高みたいに可愛い制服にすると人気も出ると思えます。▶男女共通のジャケットにスラックスかスカートを選択させるのがジェンダーレス制服だと思う。▶古くさいとの意見もありますが、シンプルで上品な今のデザインが親子で気に入っています。▶SNSをもっと活用し、体育祭や授業風景などのライブ配信などあってもいいかなあと思う。▶黒陵100周年を我が子とともに迎えられたことに、この上ない喜びを感じています。▶学校のジャージが今どき？デザインになり、羨ましいです！（昔のジャージはダサすぎて卒業と同時に処分しました）▶黒陵といえばやっぱり応援歌練習！入学してすぐに受ける洗礼に、当時の私も圧倒されました。ただ、応援歌練習がもたらす、充実感、一体感、団結力は何物にも代え難いものです。応援団のみならず、黒陵魂を引き継いでいただいてありがとうございます。

生徒・保護者共に、施設老朽化と女子制服に関する意見が多数寄せられました。特に、トイレの数が少ない、古いという意見が多く、安心して学校生活を送るためにも、インフラ整備は不可欠と感じます。

また、制服に関しては「デザインが古くて嫌だ」という意見が目立ちましたが、一方で「古さがレトロな感じで良い」という声もありました。スラックスの選択が可能となったものの、男女共通デザインを取り入れることも、検討の余地があるのではないのでしょうか。

変わるもの、変わらないもの、それぞれの良し悪しを見極めながら、皆が充実した高校生活を送って欲しいものです。

今回のアンケートは、生徒、保護者合わせて200件を超える回答が寄せられました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

先生について

【生徒の回答・3年生】 ▶各教科の先生がその科目のスペシャリスト(変態?笑)でマニアックな話が聞けて面白い。▶いろんな考えを持つ先生方と出会うことができた。高校は友達作りをする場所ではないと言われたときは進学校の生徒としての自覚を持った。また、進路について真

1年1組



1年2組



1年3組



1年4組



1年5組



全員集合& クラスTシャツ

3年1組



3年3組



3年5組



1年6組



2024体育祭 7月1・2・3日 COLLECTION



2年1組 🐻



3年2組 🐻



2年2組 🐻



3年4組 🐻



2年3組 🐻



3年6組 🐻



2年4組 🐻



2年6組 🐻



2年5組 🐻



体育祭





名場面



燃ゆる黒陵 活動の記録 <前期>

運動部

陸上競技部

●2024年春季陸上競技大会

- 3000msc 4位 伊東凌士
- 4×100mR 4位 キャンベル・藪崎・小田島・遠藤
- 4×100mR 5位 齋藤・伊東・三浦・遠藤
- 400m 6位 藪崎凌
- 1500m 6位 伊東凌士
- 400mH 6位 遠藤理恩
- 3000mSC 6位 佐藤竜馬
- 5000mW 7位 木田玄貴
- ハンマー投 7位 渡邊優士
- 5000mW 8位 高橋悠人
- 棒高跳 8位 伊藤輝
- 三段跳 1位 工藤光渥
- 5000mW 2位 鈴木あこ
- 砲丸投 4位 菅原風菜
- 棒高跳 4位 及川さくら
- 4×100mR 5位 佐々木・及川・庄司・奥玉
- 4×400mR 6位 高瀬・佐々木・菊池・奥玉
- 棒高跳 6位 松田伽音
- 5000mW 6位 赤平梨倫
- 100mH 7位 庄司菜月
- 400mH 7位 奥玉真愛

●高総体県大会

- 男子総合 2位
- 男子フィールドの部 6位
- 400mH 1位 遠藤理恩
- 5000mW 1位 高橋悠人
- 5000mW 2位 木田玄貴
- 棒高跳 2位 伊藤輝
- 400m 3位 藪崎凌
- 4×400mR 3位 キャンベル・藪崎・小田島・遠藤
- 走幅跳 4位 伊藤輝
- 棒高跳 4位 照井虹太郎
- 八種競技 4位 八重樫康介
- 棒高跳 5位 佐々木湊
- 4×100mR 5位 齋藤・伊藤・三浦・小松
- 3000mSC 6位 伊東凌士
- 三段跳 7位 高橋纏
- 女子総合 4位
- 女子フィールドの部 2位
- 走高跳 1位 小笠原煌
- 棒高跳 1位 新田里穂子
- 円盤投 1位 菅原風菜
- 棒高跳 2位 小笠原煌
- 5000mW 2位 鈴木あこ
- 七種競技 3位 庄司菜月
- 三段跳 4位 工藤光渥
- 棒高跳 4位 及川さくら
- 砲丸投 4位 菅原風菜
- 4×100mR 4位 佐々木・及川・庄司・奥玉
- 400mH 5位 奥玉真愛
- 走幅跳 5位 工藤光渥
- 4×400mR 5位 高瀬・佐々木・菊池・奥玉
- 5000mW 7位 赤平梨倫
- ハンマー投 8位 高橋明日音

●東北大会

- 5000mW 4位 高橋悠人(インターハイ出場)
- 棒高跳 2位 新田里穂子(インターハイ出場)
- 棒高跳 8位 小笠原煌
- 砲丸投 8位 菅原風菜

●インターハイ

- 5000mW 予選19位 高橋悠人
- 棒高跳 13位 新田里穂子

●県新人大会

- 男子総合 3位
- トラックの部 7位
- フィールドの部 3位
- 400m 1位 藪崎凌
- 走幅跳 1位 八重樫海理
- 5000mW 2位 木田玄貴
- 棒高跳 2位 佐々木湊
- 三段跳 2位 渡辺桜舞
- 三段跳 3位 高橋纏
- 4×100mR 4位 三浦・八重樫・佐藤・藪崎
- 4×400mR 4位 永瀨・藪崎・高橋・三浦
- 三段跳 6位 阿部夏希
- 走高跳 7位 佐藤宙哉
- 八種競技 7位 杉澤賢太郎
- 400mH 8位 高橋纏

女子総合 2位

- トラックの部 5位
- フィールドの部 3位
- 棒高跳 1位 新田里穂子
- 5000mW 1位 鈴木あこ
- 棒高跳 2位 松田伽音
- 七種競技 2位 庄司菜月
- 400m 3位 高瀬未優
- 5000mW 3位 中神みう
- 棒高跳 3位 及川さくら
- 5000mW 4位 赤平梨倫
- 砲丸投 4位 菅原風菜
- 円盤投 4位 菅原風菜
- 七種競技 4位 泉有珠
- 4×400mR 5位 及川・高瀬・及川・新田
- 走高跳 6位 後藤和香
- ハンマー投 6位 高橋明日音
- 走幅跳 7位 菅原怜
- 三段跳 7位 菅原怜
- 4×100mR 8位 谷地・及川・高瀬・新田
- ハンマー投 8位 佐藤瑠愛

●東北新人大会

- 棒高跳 1位 新田里穂子
- 400m 3位 藪崎凌
- 棒高跳 3位 松田伽音
- 砲丸投 4位 菅原風菜
- 棒高跳 5位 佐々木湊
- 七種競技 6位 庄司菜月

●国体予選

- 5000mW 4位 木田玄貴
- 5000mW 5位 高橋悠人
- 棒高跳 2位 新田里穂子
- 5000mW 3位 鈴木あこ
- 円盤投 4位 菅原風菜
- 4×400mR 4位 及川・高瀬・庄司・赤平
- 棒高跳 5位 小笠原煌
- 砲丸投 5位 菅原風菜
- 5000mW 5位 赤平梨倫
- 走幅跳 6位 新田里穂子
- 5000mW 6位 中神みう
- 4×100mR 6位 谷地・及川・庄司・新田
- 棒高跳 7位 松田伽音
- 走幅跳 7位 菅原怜
- 棒高跳 8位 及川さくら
- ハンマー投 8位 高橋明日音



ソフトテニス部

●高総体県大会

男子団体戦 第3位
山室晴廉・千田琉碧 八島銀音・長根山桜太郎 佐藤駿・高橋怜音
2回戦 黒沢尻北 3-0 高田
3回戦 黒沢尻北 2-0 盛岡市立
準々決勝 黒沢尻北 2-0 水沢
準決勝 黒沢尻北 1-2 黒沢尻工業
男子個人戦 ベスト16 八島銀音・長根山桜太郎
2回戦 佐藤駿・平果深
2回戦 秋田悠希・高橋怜音
2回戦 山室晴廉・千田琉碧
2回戦 高橋颯馬・下野瑛仁
2回戦 金見琉司・川村泰輝
女子団体戦 準優勝
櫻井美優・佐藤歩夏 傳福梨桜・八重樫菜穂 尾形未夢・阿部遥花 和賀こゆき
女子個人戦 第3位 尾形未夢・阿部遥花
ベスト32 伊藤心優・傳福梨桜
2回戦 櫻井美優・佐藤歩夏
1回戦 和賀こゆき・八重樫菜穂

●東北大会

女子団体戦 予選リーグ敗退
櫻井美優・八重樫菜穂 尾形未夢・阿部遥花 傳福梨桜・佐藤歩夏 和賀こゆき
予選Aリーグ
黒北 ②-1 長井高
黒北 0-③ 東北高
黒北 1-② 福島西高
女子個人戦 初戦敗退 尾形未夢・阿部遥花
黒北 0-④ 福島県学法石川高

ラグビー部

●高総体県大会

第3位 1回戦 黒沢尻北 63-0 一関工業
準決勝 黒沢尻北 19-20 盛岡工業
3位決定戦 黒沢尻北 45-10 花巻東

●東北大会

II部準優勝 1回戦 黒沢尻北 28-5 男鹿工業
準決勝 黒沢尻北 29-0 青森北
決勝 黒沢尻北 17-24 盛岡工業

●全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会岩手県予選

第2位 決勝リーグ 黒沢尻北 24-17 花巻東
黒沢尻北 12-34 黒沢尻工業

●令和6年度全国高等学校総合体育大会 兼104回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会

第3位 準々決勝 黒沢尻北 64-5 一関工業
準決勝 黒沢尻北 17-28 盛岡工業

野球部

●第106回全国高等学校野球選手権岩手大会

予選敗退 1回戦 黒沢尻北 11-1 沿岸連合
2回戦 黒沢尻北 4-3 水沢第一
3回戦 黒沢尻北 2-3 花巻北



バスケットボール部

●高総体県大会

男子 ベスト16 3回戦 黒沢尻北 197-46 大船渡東
4回戦 黒沢尻北 32-63 黒沢尻工業
女子 ベスト16 2回戦 黒沢尻北 107-19 盛岡誠桜
3回戦 黒沢尻北 67-79 盛岡市立

バレーボール部

●高総体県大会

男子 1回戦敗退 黒沢尻北 1-2 千厩高校
女子 ベスト16 1回戦 黒沢尻北 2-0 大槌高校
2回戦 黒沢尻北 2-0 盛岡白百合学園
3回戦 黒沢尻北 0-2 不来方高校

バドミントン部

●高総体県大会

男子学校対抗 ベスト16
2回戦 黒沢尻北 3-1 花巻農業
3回戦 黒沢尻北 1-3 千厩

男子個人対抗シングルス

1回戦 藤澤幸永 2-0 一関第二
2回戦 藤澤幸永 0-2 前沢

女子学校対抗

1回戦 黒沢尻北 3-0 一関学院
2回戦 黒沢尻北 2-3 久慈

女子個人対抗ダブルス

1回戦 石川有香・高橋杏凜 1-2 盛岡市立

サッカー部

●高総体県大会

1回戦 黒沢尻北 1-2 花巻南



卓球部

●高総体県大会

男子団体 1回戦 黒沢尻北 2-3 盛岡商業
男子個人ダブルス
1回戦 高橋祥臣・諏訪木涉 2-3 北桜
女子団体 1回戦 黒沢尻北 1-3 花北青雲
女子個人シングルス
1回戦 千葉愛未 0-3 花北青雲

柔剣道部(柔道)

●高総体県大会

男子団体 2回戦 黒沢尻北 0-5 久慈東・久慈工業
男子個人 2回戦 松田遼
1回戦 平結人
1回戦 齋藤勇貴
女子個人 2回戦 中田千晴

柔剣道部(剣道)

●第56回岩手県高等学校剣道選抜大会

ベスト16 黒沢尻北 0-3 福岡(勝ち抜き戦・3人残り)
佐藤・播磨・伊藤

●高総体県大会

男子団体戦 予選リーグ 通過ならず
黒沢尻北 0-3 盛岡第一
黒沢尻北 1-2 水沢工業

男子個人戦

2回戦進出 後藤 湊
1回戦出場 戸田 松田
女子団体トーナメント 1回戦出場
黒沢尻北 0-4 花巻南

女子個人戦

3回戦進出 佐藤
2回戦進出 播磨
1回戦出場 伊藤

●第50回岩手県下居合道大会

高校無段の部 第1位 後藤 第3位 伊藤

弓道部

●岩手県弓道選手権大会

女子個人 第6位 黒澤 朋華 4射3中

●高総体県大会

男子団体 予選敗退 予選:40射15中
女子団体 ベスト16 予選:40射14中 準々決勝:60射22中
女子個人 予選出場 高橋小夏 予選:8射2中

自然科学部(フィールド班)

●スポーツライミングいわてカップ2024ボルダー・リード大会兼国体選手選考会

ボルダー・オープン 第5位 廣田一航
リード・オープン 第1位 廣田一航

●第12回リードユース日本選手権いわて盛岡大会

第20位 廣田一航

●第10回ボルダージュース日本選手権いわて盛岡大会

第42位 廣田一航

●第76回岩手県民体育大会スポーツライミング競技

兼第16回岩手県スポーツライミング競技国体選手選考会

ボルダー競技・少年男子の部 第2位 廣田一航・宮腰航太郎
リード競技・少年男子の部 第2位 廣田一航・宮腰航太郎

水泳部

●東北大会

男子400m個人メドレー 17位 佐々木琥太郎
男子400m個人メドレー 23位 佐々木琉之介
男子4x100mメドレーリレー 17位 佐々木琥・柄谷・伊藤壮・立花

男子200m個人メドレー	24位	佐々木琉太郎
男子100m平泳ぎ	27位	柄谷匠哉
男子200m平泳ぎ	19位	柄谷匠哉
男子4×100mフリーリレー	29位	立花・伊藤壮・佐々木琉・佐々木琥
男子4×200mフリーリレー	19位	立花・伊藤壮・佐々木琉・佐々木琥
男子200mバタフライ	18位	立花蒼來
男子200m背泳ぎ	41位	伊藤泰史
男子100mバタフライ	19位	立花蒼來
男子100m背泳ぎ	43位	伊藤泰史
男子200m個人メドレー	23位	佐々木琉太郎
男子50m自由形	43位	泉澤悠人
男子100mバタフライ	40位	伊藤壮平
男子100m平泳ぎ	47位	高橋東希
女子4×100mメドレーリレー	17位	小笠原・廣野・太田・千田
女子200m平泳ぎ	26位	廣野桃子
女子100mバタフライ	22位	太田愛莉
女子200mバタフライ	17位	太田愛莉
女子100m平泳ぎ	26位	廣野桃子
女子400m個人メドレー	31位	小笠原佳穂
女子4×100mフリーリレー	29位	太田・小笠原・廣野・千田
女子400m自由形	38位	千田梨緒
女子200m自由形	40位	千田梨緒
女子100m背泳ぎ	33位	小笠原佳穂
●県新人大会		
男子200m平泳ぎ	2位	柄谷匠哉(東北大会出場)
男子100m背泳ぎ	3位	佐々木琉之介(東北大会出場)
男子100mバタフライ	3位	立花蒼來(東北大会出場)
男子200mバタフライ	3位	立花蒼來(東北大会出場)
男子4×100mメドレーリレー	3位	佐々木琉・柄谷・立花・泉澤(東北大会出場)
男子100m平泳ぎ	4位	柄谷匠哉(東北大会出場)
男子200m平泳ぎ	4位	高橋東希(東北大会出場)
男子200m背泳ぎ	4位	伊藤泰史(東北大会出場)
男子400m個人メドレー	4位	佐々木琉之介(東北大会出場)
男子4×100mフリーリレー	4位	立花・泉澤・柄谷・佐々木(東北大会出場)
男子100m平泳ぎ	6位	高橋東希
男子50m自由形	7位	泉澤悠人
男子100m自由形	7位	泉澤悠人
男子100mバタフライ	10位	高橋虎之介
男子100m背泳ぎ	11位	伊藤泰史
男子200m平泳ぎ	12位	安ヶ平俊祐
男子100m背泳ぎ	15位	佐藤優
男子100m平泳ぎ	16位	小原生大
男子50m自由形	19位	小田島琉晟
男子100m自由形	22位	小田島琉晟
男子100m自由形	26位	高橋暖
男子50m自由形	32位	高橋暖
女子100m背泳ぎ	3位	小笠原佳穂(東北大会出場)
女子200mバタフライ	3位	太田愛莉(東北大会出場)
女子100mバタフライ	4位	太田愛莉(東北大会出場)
女子200m平泳ぎ	4位	廣野桃子(東北大会出場)
女子4×100mメドレーリレー	4位	小笠原・廣野・太田・中島(東北大会出場)
女子200m背泳ぎ	5位	小笠原佳穂
女子100m平泳ぎ	5位	廣野桃子
女子4×100mフリーリレー	5位	太田・中島・廣野・小笠原
女子50m自由形	13位	中島瑚心

文化 部



書道部

- 第19回岩手日報高校書展
 - 佳作 佐藤真央
- 第29回全日本高校・大学生書道展
 - 漢字 優秀賞 佐藤真央
 - 準優秀作品 及川珠々葉
 - 小出真綾
 - 佐藤優
 - 高橋弥玖

音楽部

- 第76回全日本合唱コンクール岩手県大会
 - 銀賞



吹奏楽部

- 第62回岩手県吹奏楽コンクール中央地区大会
 - 高校の部 金賞(県大会出場)
- 第62回岩手県吹奏楽コンクール
 - 高等学校の部 金賞(東北大会出場)
- 第67回東北吹奏楽コンクール
 - 高等学校の部 銀賞

放送部

- 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会
 - 創作テレビドラマ部門 入選(3位相当)
 - 田村崑太・槻木晴輝 I'mkind
 - テレビドキュメント部門 入選(5位相当)
 - 相澤 瞳・豊巻心路 100年の歴史～続く模様～
- 第47回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会
 - 兼第42回岩手県高等学校放送新人大会
 - アナウンス部門 入選 及川咲花(10位相当) 東北大会出場権獲得
 - 朗読部門 入選 千葉安珠(12位相当) 東北大会出場権獲得

演劇部

- 令和6年度県南地区高等学校演劇協議会合同発表会
 - 兼第50回岩手県高等学校演劇発表大会県南地区予選
 - 優秀賞(県大会出場)
 - 演技賞 那須帆夏



囲碁・将棋部

- 第48回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会
 - 男子団体戦A級 第6位
- 第33回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会
 - 男子団体戦A級 第5位

写真部

- 第15回夏季写真コンテスト
 - 優秀賞 駿河穂奈美
 - 優秀賞 高橋いぶき
 - 優良賞 播磨美聡
 - 優良賞 高橋いぶき
 - 入選 八重樫愛菜
 - 入選 齋藤晃徳
 - 入選 齋藤晃徳
 - 入選 播磨美聡
 - 入選 柳谷尚徳
 - 入選 大平健太
 - 入選 小原依梨弥

- 第48回高校生フォトコンテスト
 - 2席 小田島侑美

- 第49回高校生フォトコンテスト
 - 3席 齋藤晃徳
 - 4席 菊地瑞望

国語科

- 令和6年度岩手県高校生文芸コンクール

- 詩
 - 優秀賞 高橋怜音
 - 優秀賞 中田千晴
 - 入選 久保田泰晟
- 短歌
 - 優良賞 高橋菜心子
 - 入選 菊地ハユル
 - 入選 及川珠々葉
 - 入選 小原銀
 - 入選 杉田聖月
 - 入選 八重樫瑛大

- 令和6年度「岩手県高校生読書体験記コンクール」
 - 優秀賞 小田島芽吹

GMC

- 第47回岩手県高等学校総合文化祭第24回軽音楽大会
 - Newsnows まがった僕のしっぽ 優良賞
 - Ascendencer イマジネーション

黒陵祭

8月30・31日



職員紹介

①担当 ②教科 ③部活動 ④高校時代のニックネーム

金濱千明



②数学

校長

高橋直樹



②国語

副校長

木下博章



④キンタ

事務長

1学年

伊藤浩道



①1年1組
②理科
③バスケットボール
④みっちー

佐々木淳一



①1年1組
②地歴公民
③ラグビー
④じゅんちゃん

及川実愛



①1年2組
②国語
③吹奏楽
④みありん

秋田浩介



①1年2組
②保健体育
③ソフトテニス
④なし(あきた)

菊池崇



①1年3組
②数学
③ラグビー
④タガアシ

長谷川潤二



①1年3組
②理科
③弓道
④はせじゅん

伊藤貴樹



①1年4組
②地歴公民
③硬式野球
④タカ

木村美恵



①1年4組
②英語
③陸上競技
④おじょう

佐藤牧人



①1年5組
②保健体育
③硬式野球
④まっさい

石井晴



①1年5組
②英語
③陸上競技
④はるちゃん

鈴木竜矢



①1年6組
②数学
③柔剣道
④たっちゃん

川崎博子



①1年6組
②国語
③演劇
④ひろちゃん

高橋深雪



①1学年付
②理科
③写真
④びゅ

佐藤麻美



①1学年付
②養護
③ソフトテニス
④あさみん

2学年

日當貴志



①2年1組
②国語
③バレーボール
④ひなっち

飯野勇人



①2年1組
②数学
③ソフトテニス
④めし

及川学



①2年2組
②地歴公民
③硬式野球
④がっくん・がっちゃん

高屋恵理



①2年2組
②地歴公民
③書道
④エリタン

小笠原直人



①2年3組
②理科
③サッカー
④オガちゃん

千葉由紀枝



①2年3組
②音楽
③音楽
④ゆきえちゃん

三浦由香



①2年4組
②家庭
③茶道
④すずちゃん

須藤行貞



①2年4組
②英語
③サッカー
④ゆっき

谷藤英美



①2年5組
②英語
③音楽
④えみっち、えみりん

菊池慶幸



①2年5組
②数学
③バドミントン
④のり

昆靖智



①2年6組
②理科
③吹奏楽
④コンジン

切田望



①2年6組
②国語
③柔剣道
④のんちゃん

園部明香



①2学年付
②英語
③美術
④園部

利府崇



①2学年付
②数学
③自然科学
④りふちゃん



菊地 敬太

- ①2学年付
- ②保健体育
- ③陸上競技
- ④けーた



3学年



高橋 知己

- ①3年1組
- ②地歴公民
- ③放送
- ④ともみ



小原 知佳子

- ①3年1組
- ②英語
- ③吹奏楽
- ④ちかこちゃん



小野寺 弘幸

- ①3年2組
- ②理科
- ③卓球
- ④ひろゆきちゃん



菊池 洋右

- ①3年2組
- ②数学
- ③サッカー
- ④きくちゃん



茨田 智恵子

- ①3年3組
- ②国語
- ③卓球
- ④旧姓の時がありました



千葉 貢

- ①3年3組
- ②英語
- ③ GMC
- ④なんだっけ?



阿部 佳子

- ①3年4組
- ②数学
- ③バドミントン
- ④あべよ、あべよし



伊藤 諭

- ①3年4組
- ②保健体育
- ③ラグビー



内田 光明

- ①3年5組
- ②数学
- ③弓道
- ④みっちゃん



阿部 潔司

- ①3年5組
- ②国語
- ③水泳
- ④あべきよ?



早川 佳代子

- ①3年6組
- ②理科
- ③囲碁将棋
- ④かよちゃん



及川 宏明

- ①3年6組
- ②英語
- ③バレーボール
- ④おいちゃん



小田島 淑人

- ①3学年付 ②地歴公民
- ③バスケットボール
- ④フツーに下の名前でよばれてました



久保田 剛

- ①3学年付
- ②数学
- ③水泳
- ④クボ



3学年外



吉田 文夫

- ①非常勤講師
- ②理科
- ④文さん



細川 泰史

- ①非常勤講師
- ②美術



佐藤 直樹

- ①非常勤講師
- ②英語
- ④混血感覚が持ち上がり、イギリス人・ロシア人・アラブなど…。



中嶋 敏生

- ①非常勤講師
- ②書道



伴地 慶介

- ①非常勤講師
- ②情報
- ④ばんちゃん



クレブ モーア

- ① ALT
- ② 英語
- ④ Kleb (クラブ)



濱田 清一郎

- ①主任主査
- ④ハマ



赤川 希

- ①主事
- ④のんちゃん



池田 空

- ①主事
- ④いけっち



及川 光博

- ①ボイラー技士兼学校技術員



大向 信江

- ①教員業務等支援職員
- ④ノブ



小屋敷 盛幸

- ①非常勤学校技術員



廣野 由佳

- ①非常勤学校技術員
- ④お嬢、チョッチャん



佐藤 勝

- ①校務補助員
- ④白骨



令和6年度 PTA役員	会長	太田 宣 承					3学年	委員長	伊藤 文 洋
	副会長	伊和 高	藤賀 橋	文千 直	洋穂 樹	伊松 村 大		藤 隆 一	健 己
	会計監査	遠柴 藤 佐	藤田 藤	晴美 知 修	子 和 樹	高 齋 平	橋 藤 映 知	寛 香 己	
		副委員長	和賀 千 穂	高橋 慶 吉	高切 田 望	松村 大 成	村 中 江 美	大 美 矢	
	2学年	委員長	高切 田 望	松村 大 成	村 中 江 美	田 鈴 木 竜 矢	副委員長	田 鈴 木 竜 矢	
		1学年	委員長	松村 大 成	村 中 江 美	田 鈴 木 竜 矢	副委員長	田 鈴 木 竜 矢	



言葉を浴びて育つ

校長 金濱 千明

去る5月、創立100周年を祝う記念式典・祝賀会等の最大イベントを無事終えることが出来ました。PTAの皆様にも多大なるご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。お陰様で、心に深く残る盛大な一日となりました。この後も記念事業の駐車場整備や年度末の記念誌発刊と続くのですが、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、「木は光を浴びて育つ。子どもは言葉を浴びて育つ。」という言葉があります。15年ほど前「堀川の奇跡」と呼ばれた学校改革を成し遂げた京都市立堀川高校の当時の校長で、現在は中央教育審議会会長を務められている荒瀬克己先生のことばです。私も何度か荒瀬先生の講演を聞いたことがあり、その中でも話しておられたのを記憶しております。この言葉から思い当たることがいくつかあります。

一つ目は子どもが獲得することば遣いについてです。子どもは、周りの大人のことばを聞き、それを真似する中で自然とことばを覚え、使えるようになっていきます。そのため、丁寧なことば遣いの環境で育てば、子どもも丁寧なことば遣いを身につけるようになります。逆に乱暴なことば遣いの中に身を置いていけば自然とそのようなようになっていきます。大人はあまり自覚していませんが、その影響はとても大きいようです。実際、私のこどもの場合も保育園の頃、友だちの呼称が「○○くん、○○ちゃん」であったのが、小学校に入学すると「○○さん」と呼ぶようになりました。担任の先生がそう呼んでいたからのようです。信頼する大人や周囲の環境の影響の大きさを感じた場面でした。その後、中学生の頃には呼び捨てするようになりましたので、逆の意味で納得しました。その経験からSNSへの書き込みを「ですます調」で書き込むようにしてみたら、応答も「ですます調」で返ってくるようになりました。良好な関係性が維持できているように感じています。同じことが学校でも起きていますので、教職員はもとより子ども同士におい

ても普段から丁寧なことば遣いの環境を心掛け、相互の尊敬に基づく関係性を築きたいものです。

二つ目は、対話の中で言葉が自分に向けられていると感じることの大切さについてです。例えば、日頃交わされる「挨拶」です。挨拶習慣の大切さを私たちは子どもに説いています。ところが挨拶は一方だけが行ってもコミュニケーションとして成立しません。された側が相手に伝わるように応答することで初めて挨拶が成立しますし、同時に「相手の存在を認め、リスペクトする」という行為にもなります。先に挨拶した側は返された挨拶で自分が相手に承認され、「挨拶してよかった」と受け止めることが出来ます。子どもはこうした経験を積み重ねて「挨拶」を良い習慣として獲得できると考えます。挨拶に限らず、普段の対話の中できちんと相手の話を聞き、相手に向き合って応答を返すということは「相手の存在を認め、リスペクトする」という行為ですので、誰にでもそのような対応を心掛けたいものです。その習慣が相手に「大事にされている」と感じてもらうことに通じますし、このことも相互の尊敬に基づく関係性を築くことにもなると感じております。

三つ目は、肯定的なことば遣いの大切さについてです。プロスポーツ選手もそうしている方がいると聞いたことがあります。ポジティブな言葉を聞いたり、発することで脳や心理的に良い状態を保つことが出来るようです。実はそれを感じる場面がありました。100周年の記念式典等で来賓の方々や同窓生の皆さま方からたくさんのお褒めの言葉や「黒陵は素晴らしい環境である」「良い学校である」というような学校に対する肯定的な表現をいただく機会がありました。そのおかげか、今年は比較的生徒の欠席数が少なく推移している状況にあります。ありがたいことです。

荒瀬先生は著作の中で「言葉は、人が成長していく上で何よりも大切なものです。しかも、いい言葉、正しい言葉を浴びて育っているかどうかは、大きな問題です。…言葉は脳を刺激します。人は、言葉によって喜びを得、言葉によって傷つきもする。言葉によって外界のものだけでなく感情をも把握し、言葉によって表現し、言葉を満たしていくことで育っていきます。」と述べています。このことについて全くの同感です。

豊かな言葉のシャワーを浴びて、黒陵生一人一人が健やかに成長することを願います。



黒陵 100 周年の品格

PTA会長 太田 宣承

黒陵 100 周年の節目の年を迎えました。そのタイミングでご縁あって会長という任を賜り、真に光栄であります。この節目の年に在籍している生徒・先生・保護者の皆さん、個々の思いに差はあれども、その思いを超えて、この年にこうして在籍しているというご縁は、誠に不思議なものです。

5月には記念式典が盛大に催され、8月末には100周年の黒陵祭が成功裏に終えられました。しかしながら、100周年記念事業の目玉とされてきた「東大励志プロジェクト」は、東大合格という結果はまだ出ておりません。すばらしき結果が出るか否かが焦点になっていると思うのですが、そもそも生徒や保護者、そして同窓生の中には、「うちは東大関係ないし…」等と、冷やかに観ている方も決して少なくないのだらうと感じております。

しかし私は当事業について、もっと大事にすべき点があるのではないかと、そう考えています。

およそ3年前、このプロジェクトが立ち上がった際、当時の校長先生が描かれた「趣意書」があります。一部ではありますが、ここに一文をご紹介します。

『(前略)「黒陵」はいわゆる「進学校」である。だが「た

だの進学校」ではない。

大学への合格者数を誇って「進学校」としているのではない。

「黒陵」は生徒一人ひとりの進路希望の100%実現を目指す「進学校」である。

真剣な「夢」を持ち、その実現のために真摯な「努力」を続ける生徒、その生徒の「夢」をかなえるため一丸となって指導に当たる教職員、その融合こそが黒陵を「進学校」たらしめているのであり、生徒が「○○大に進学したい」と言えば、それをかなえるのが「黒陵」の使命である。

しかるに、生徒は一体どんな「夢」を持って「黒陵」の門をくぐるのか。

実に様々な生徒の「夢」、しかしその中に「東京大学」の名前が挙がることは近年絶えてない。この現状を我々はどう考えるべきか。どうしていくべきなのか。(後略)』

例えば、スポーツや文化活動の中でも高みを目指す仲間がいると、その相乗効果で全体の意識やレベル、機運等が上がる場合があります。東大に合格するという結果よりも、その目指す道程の中で、向上の姿勢に触発されて、「自分は東大ではないけれど、自分も夢を諦めたくない」という気持ちの沸き起こることもあるでしょう。

それが仮に就職したいと言う強い思いの夢であるならば、それを喜んで応援していくことこそ、黒陵 100 周年の尊き姿ではないだろうか、勝手ながらそう私は思うのです。



本年度も広報委員が体育祭・文化祭にて、会報用の写真撮影を行いました。日頃の授業からしばし解放され、貴重な行事を全力で楽しむ、青春の1ページを覗かせていただきました。どの行事でも、子供達のたくさんの笑顔が見られ、黒陵生はメリハリのある学校生活を送っているなど改めて感じたところです。

特集アンケートに回答いただいた生徒・保護者の皆様をはじめ、多くの方にご協力いただき、無事に会報の発行に至りました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

広報委員長 八重樫奈美